

イヌワシ

Aquila crysaetos japonica

タカ目 タカ科

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IB



全国的には、低山から亜高山帯の林に周年生息し、岩棚や大木の高い枝などに営巣する。開けた場所で、ノウサギ、タヌキ、キジ、ヘビなどを捕食する。他のタカ類と異なり、下面が黒く見え、羽ばたきが少ない。県内には、くじゅう山系に1つがいが生息するが、1996年以降は営巣活動がみられなくなっている。大分県は南限域とされていたが、1999年に、宮崎県で1つがいの生息が確認されている。森林の伐採や土地開発などにより、九州、四国、中国地方西部では生息個体数が極めて少なくなり、絶滅の危機に瀕している。

(写真：志賀信幸 文：島岡 章)

県内分布 くじゅう山系に生息する留鳥。

分布域 北海道から九州の低山から高山に生息する留鳥。

朝鮮半島では留鳥。中国東北部では冬鳥。シベリア北部では夏鳥。シベリア南部では留鳥。